



モンティエン・ブンマー

ヴィパート・プリチャーノン

モンティエン・ブンマー（1953年生、2000年没）は、1990年代の現代美術の発展においてきわめて影響力の大きかったタイのアーティストである。1978年、シラパコーン大学より美術学士を取得。次いで、パリの国立高等美術学校で彫刻を学ぶ。1988年に同校を卒業後は、チェンマイ大学でミクストメディア彫刻について教鞭を執る。ブンマーが国際的に知られるようになったのは、1992年に開催された「美術前線北上中：東南アジアのニュー・アート」展（東京芸術劇場展示ギャラリー、福岡市美術館、広島市現代美術館、キリンプラザ大阪）や、1993年にブリスベンのクイーンズランド州立美術館で開催された第1回アジア・パシフィック現代美術トリエンナーレといった地域での展覧会に参加したことによる。

ブンマーが手がけた仕事は、近代から現代美術への転換を示すものである。田舎の農作業で使われる道具や、建材、古くから伝わる薬草などを、彫刻制作に採り入れた。また、仏教的な概念や古い技法を作品に応用することで、自分が教えた学生や若いタイのアーティストたちのために道を拓いた。



モンティエン・ブンマー、1991年



「タイ現代美術のニューフェイス—モンティエン・ブンマー展：土で描かれたパゴダ&コスモス」会場風景、国際交流基金アセアン文化センター・ギャラリー、1991年



モンティエン・アトリエ1でのモンティエン・ブンマー・アーカイブの展示風景



モンティエン・アトリエ2でのモンティエン・ブンマー・アーカイブの展示風景

関連リンク

オンライン記録

- Navin Rawanchaikul and Gridthiya Gaweewong, “Dearest Montien: A Tribute Montien Boonma,” *Art Asia Pacific* (Jul / Aug 2014), <http://artasiapacific.com/Magazine/89/DearestMontien>.
- Katharine P.Burnett, “Montien Boonma: Temple of the Mind,” *CAA.reviews*, November 4, 2004, <http://www.caareviews.org/reviews/698>.
- Usnisa Sukhsvasti, “The Making of Montien Boonma,” *Bangkok Post*, May 8, 2013, <https://www.bangkokpost.com/life/arts-and-entertainment/348936/the-making-of-montien-boonma>.

展覧会

- “Montien Boonma: Temple of the Mind” (National Gallery of Australia, 23 July – 10 October 2004), <https://nga.gov.au/boonma/index.cfm>.
- Rama IX Art Museum Foundation, “Montien Boonma: 1953 – 2000,” <http://www.rama9art.org/montien/>.
- Asia Society, “Montien Boonma: Temple of the Mind,” <http://sites.asiasociety.org/arts/boonma/index.html>.

カタログ

- 『タイ現代美術のニューフェイス—モンティエン・ブンマー展：土で描かれたパゴダ&コスモス』（東京：国際交流基金アセアン文化センター、1991年）
https://www.jpf.go.jp/j/publish/asia_exhibition_history/09_91_boonma.html

資料館

- Montien Atelier, <https://www.facebook.com/MontienAtelier/>.

関連ワード

美術前線北上中、福岡アジア美術館、クイーンズランド州立美術館 | 現代美術館